

☆現場実習お世話になりました☆

今年度もB高等部の現場実習がありました。高等部1年生は、施設見学に行きました。年2回の現場実習は、卒業後の進路選択をする上で、とても大切な行事です。いろいろな所を見学したり、体験したりしたことを今後の学校生活や進路選択にいかしましょう。

今年度、お世話になった事業所を紹介します。

就労継続支援A型…いろえんぴつ、しあわせ工房、手まり

就労継続支援B型…せいび夢空間

生活介護…あんずの家、みゆき広場、あお空、青葉、こころ、風、福山若草園、いち・にのさん、スマイルライフ、こころ与井

障害者入所支援…吉備路学園、あしたば、ライフステーションひまわり



1年生は初めての現場実習でした。主に施設見学が中心ですが、いろいろな事業所を見学して、来年度の現場実習先を決める参考になったでしょうか。また、2年生はいよいよ現場実習が始まりました。どんなところがいいのか？1学期の実習を振り返り、2学期の実習先をよく家族の人と相談しておきましょう。そして、3年生はいよいよ進路先の決定の時期となりました。もう進路先を決めた人もいれば、まだまだ迷っている人もいると思います。分からないところや、不安に思っていることがあれば、きちんと確認し、担任の先生ともよく相談して2学期の現場実習が充実できるように頑張りましょう。



☆第一回進路懇談会報告☆

6月9日(月)に「特定非営利活動法人 ケアサポートくらしき」の管理者 井桁 陽子さんをお迎えして第一回目の進路懇談会を行いました。小・中・高等部の保護者13人の方が参加してくださいました。

当日はお子さんのうち、人工呼吸器を使用している長女の「壽子(ひさこ)」さんと、次男の「大臣(おおみ)」さんもヘルパーさんと一緒に参加してくださいました。3人の子供のうち、2人が人工呼吸器を使用して在宅生

活をされており、今までの子育ての経験や、ヘルパー事業所を立ち上げる経緯などのお話をいただきました。また、参加された保護者に対して「事業所には、遠慮しないで要望はしっかり伝えた方がいい。そうやっていかないと、子供の環境は良くなっていかない。」とアドバイスもいただきました。障がいをもつ子供の親として、共感する部分もあったのではないのでしょうか。

参加された保護者から、たくさんの感想を頂きました。これを見て、参加された保護者の方も、いろいろな経験をされていることを改めて感じました。今回は、その感想をお知らせしたいと思います。(個人名の部分は差し替えています。)



んだなと思いました。

思いは実現することも感じました。(子供さんたちにみんなで声を掛け、会話をすればよかったなあと、心残りです。)

☆我が子と重なる部分が少なく、共感よりも大変だったのですねの思いが強かったのですが、我が子が呼吸器を麻酔下で使用していた時を思い出しました。1ヶ月がすごく長く感じたものを、何年もと思うと頭が下がります。節目、節目に助けてくれる人たちに出会えたのも、井桁さんの人柄なのでしょうね。我が子はまだそのような人たちに出会えてないように思います。

大臣さんが地域の小学校に入学し、同級生に囲まれた写真はとても羨ましく思います。我が子は就学前、地元の幼稚園で月1~2回園を開放して、子育ての話や子供が同じ年頃の子供たちとのふれあいをめあてに、交流会がありましたが、その時園児に言われた一言で、その会に出向くことができなくなりま

☆とっても前向きにいろいろ考えていて、私も頑張らなくては…と感じました。

☆「マンパワー」、「親パワー」。ちょっと耳の痛い言葉でした。

☆笑顔で明るく話してくださっている姿の向こうに、壮絶な人生をどう捉えてこられたのか垣間見れ、子供さんたちもお母さんも幸せのあり方に気付け、頑張っておられる

した。井桁さんは節目にプラスになる人たちと出会い、良い転機をむかえられていて…。我が家は手探りで何か一歩前に出ようとするとなにか違う。時期が違うのか、マイナスにしか進んで無いようで…。でも、できることから、なにか始めてみようかと思い始めていますが…。いつになったら行動にうつせるか、未定です。



★井桁さんはご自分でされてきたことを、“大

したこととしてないんだよ”とでも聞こえてしまうくらいサラッとと言われていました（私にそう聞こえただけかもしれませんが…）が、ご自分の意志をしっかりと周りの人たちに伝え続けたからこそ、道も開けただろうし、周りの人たちの協力も得られているんだろうなと感じました。

私も地域で子供の障害を隠しているわけではないのですが、「こうしたいと思ってる。」とか「子供に将来こうなってほしいから、今こうすることが必要なんだ。」とか「子供が地域で育つのは当たり前の事だと思う。」などのことは口にしたことはありません。地域の人は、子供たちが地域にいることは当たり前なんだとは思ってくれていますが、まだそれだけのように思います。



今回のお話で一番心に残ったのは、子供のためにニーズを言葉にして伝えていくことの大切さです。私自身なかなか外に向かって発信していくことは苦手です。子供のために親も成長していかないといけないんだなあと考えさせられた講演でした。ありがとうございました。

いろいろなご意見ありがとうございました。皆様のご意見を見て一番に感じたのが、「参加した皆さんもいろいろな苦労や悩みをもっている。」ということです。保護者の方の苦労や悩みが少しでも解消できるように、進路係としてできることをこれからも模索していかないといけないと思います。

明るくお話をされていた井桁さんですが、今こうやって笑っていただけるようになるまで、どれだけの苦労があったんだろう？と感じました。井桁さんも、保護者の方と同じようにいろいろな悩みや苦労をされたと思います。しかし、夢に向かって前に進み続けたからこそ、今の生活があるということも同時に感じました。保護者の方もこの先、進路のことや将来の生活のことなど、迷うことや悩むことも多いと思います。進路係としても、少しでも、一歩でも前を向いて進めるお手伝いができるように、いろいろな取組みをしていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

----- 切り取り線 -----

御意見・感想などお寄せください。()学部()年 児童・生徒氏名()

【B 部門進路だより】